

季刊

社会福祉法人
名古屋市総合リハビリテーション事業団

オレンジ ROAD

ORANGE
ROAD

2016年
夏号
vol.10

INDEX

- ◆第19回 国際健康福祉産業展
～ウェルフェア2016～
- ◆名古屋市総合リハビリテーション
センター説明会
- ◆平成27年度 業務研究等事業の報告
- ◆居場所・サロン事業
- ◆『高次脳機能障害地域生活援助者
養成研究事業』事例経過報告会
- ◆合同就職説明会
- ◆イベント情報
- ◆募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



イベント報告

第19回 国際健康福祉産業展 ～ウェルフェア2016～

平成28年6月2日（木）から4日（土）までの3日間、ポートメッセなごやで第19回 国際健康福祉産業展～ウェルフェア2016～が開催されました。この展示会は中部地区最大の福祉・健康産業展であり、今年は153社・団体が最新機器やサービスなどを展示紹介しました。毎年、当事業団は主催者である名古屋国際見本市委員会に参画するとともに、なごや福祉用具プラザがこの展示会に出展しています。

今回なごや福祉用具プラザの出展のコーナーでは、来場者にプラザの持つ機能を知ってもらうことを目的に、展示パネルを使ってプラザの機能についての説明を行いました。



また、福祉用具の製作や高齢者疑似体験を通じて、生活の中で福祉用具を活用することを考えてもらうためのミニ講座を開催しました。この出展内容は前回までとは少し異なるものだったため、課題もありましたが、出てきた課題に随時修正を加えながら行い、無事に終えることができました。

今回の出展で「どのようにしたらうまく伝わるのか」考えながら取り組みを外部に伝えていくこと、時には今までとは違う

新しい発想を取り入れて実行することが大切であると改めて感じました。

今後も新しい発想を取り入れながらプラザの機能を伝え、高齢者や障害者の方の自立の支援につなげていきたいと考えています。



イベント報告

名古屋市総合リハビリテーションセンター説明会

平成28年7月13日（水）に、名古屋市総合リハビリテーションセンター大研修室で、名古屋市総合リハビリテーションセンター説明会を開催しました。この説明会は、当センターで行われている障害のある方に対する一貫した支援の流れを、関係機関の職員の方々に紹介するために開催するもので、昨年度に引き続き2回目の開催となります。

センターの事業や支援の流れ、高次脳機能障害支援部門、看護部門、リハビリテーション部門、自立支援部門の各部門の支援内容についてご紹介した後、実際の訓練の場の見学を行いました。また、今年度は新たに、より具体的な支援の流れを伝えるため、当センターの附属病院と障害者支援施設を利用した2つの事例紹介を行いました。



参加定員を超える申し込みをいただき、当日の参加者は医療機関のソーシャルワーカーや、障害者基幹相談支援センターの相談支援専門員の方を中心とした50名でした。参加者アンケートでは「実際に見学して患者様に説明しやすくなった」「事例紹介があり具体的にイメージしやすかった」「定期的に開催してほしい」との感想をいただきました。

今回の説明会について良かった点、改善すべき点を次回の説明会の企画に生かすとともに、当センターと関係機関の職員の方々とによりよい関係づくりのために、説明会をはじめとした広報に力を入れていきたいと考えています。



平成27年度 業務研究等事業の報告

7月11日に、平成27年度業務研究等事業の報告会を開催しました。この事業は質の高いサービスを提供する基盤となる研究等を推進し、職員の職務能力等の向上を図るために行うものです。今回は4人の職員が報告を行いました。

①PET-GAS定量検査における視野外放射線に対する体幹部シールドの効果検証

(放射線診断科 林絵美)

PETの¹⁵O-gas検査で使用している体幹部シールドの、視野外の放射線に対する効果について、画像の視覚評価と定量値の誤差等の物理評価の比較をファントムを用いて行った。視覚評価はほぼ同等であり、物理評価ではシールドがあっても視野外放射線の影響が低減されることが分かった。

②当院でのHANDS療法の効果検証

(作業療法科 神戸久美)

ボトックス投与後の中等度片麻痺患者に対する電気刺激療法（HANDS療法）の効果を検証した。HANDS療法により、関節可動域、日常生活上での麻痺側上肢の使用（MAL）で3カ月間、上肢機能検査（FMA）で1カ月間有意な変化がみられ、ボトックスとHANDS療法の併用が効果的であることが分かった。

③回復期リハビリテーション病院における併設事業の実態調査 その2

～訪問調査による地域ニーズの解明～

(生活支援課 平野尚孝)

回復期リハビリテーション病院22病院に聞き取り調査を行い、病院の状況や介護・福祉サービスとの連携、当センターとの連携等について調査を行った。9割以上が退院後介護保険利用になるが、当センター利用が見込まれる患者もおり、MSW等のスタッフへの帰結情報等の情報提供を今後も進める必要があることが分かった。

④頭部MRI画像の各種標準化法の比較

(企画研究室 日比野新)

頭部PET・MRI画像解析の際に、対象者の脳画像を標準脳と同じ形状に変形して比較を行うが、ソフトによって精度が異なるため調査した。従来法（SPM5）とSPM12の新手法（Unified Segmentation、DARTEL）ではDARTELが最も精度がよいが、計算の手間と時間がかかることが課題となった。

なお、平成28年度に実施されている業務研究等事業は以下の通りです。

- ①回復期脳卒中片麻痺患者におけるReoGo-Jを使用した上肢リハビリテーションの安全性および有用性の検討
(作業療法科 庵本直矢)
- ②脳卒中者に対する無動力歩行支援機ACSIVEの有用性の検討 (西部リハビリテーション事業所 石黒正樹)
- ③薬薬連携に関する調査 (薬剤科 内田裕子)
- ④入院患者に対し、居宅を訪問して理学療法を実施する時期についての検討 (理学療法科 辻册浩)
- ⑤下肢ボツリヌス療法での理学療法介入方法の違いが下肢機能・歩行能力に与える影響 一異なった2種の理学療法による比較検討一 (理学療法科 戸田海渉)

居場所・サロン事業

6月から当事業団で「居場所・サロン事業」が始まりました。



居場所・サロン事業開始の経緯

今般の社会福祉法一部改正の議論の中で、社会福祉法人の責務として元々あるべき地域貢献を積極的に行っていくことで、地域に根差した(地域から信頼される)法人を目指すべきではないか等の議論がなされました。その結果、社会保障審議会福祉部会報告の中でも社会福祉法人として積極的に地域貢献を行うということが明記されました。

このような報告書や議論を踏まえて、名古屋市社会福祉協議会を中心に「社会福祉法人社会貢献推進プロジェクトチーム」が設置され、地域における公益的な取り組みとして「なごや・よりどころサポート事業」としてスタートすることになりました。

事業団は何をするの？

なごや・よりどころサポート事業は、
①居場所・サロンづくり事業 ②若者よりそいサポート事業 ③就労支援事業
の3つで構成されています。当事業団は現在①と②に参画しています。

居場所・サロン事業とは？

当事業団の行う「居場所・サロン」は、多くの専門職が働いているという特色を生かして、情報提供と相談を行う形式にしています。

「居場所・サロン」は6月から毎月1回開催され、福祉スポーツ課の健康講座「メタボリックシンドローム予防」と共同開催(6月)「福祉用具の展示・体験会(7月)」「おとなの食育講座(8月)」「聞こえについて(9月)」が開催されました。

この「居場所・サロン」事業を行うことは、地域にお住まいの方々に当事業団を知っていただくいい機会になると考えています。少しずつでも当事業団の中身を知っていただける人が増えていくことで、より地域に根差した社会資源になっていくものだと思っています。

今後も地域に根差した社会福祉法人となるべく各部署と連携し「居場所・サロン」事業の内容を充実していきたいと考えています。



『高次脳機能障害地域生活援助者養成研究事業』 事例経過報告会を開催しました

平成28年6月29日（水）に、名古屋市総合リハビリテーションセンターで『高次脳機能障害地域生活援助者養成研究事業』事例経過報告会を開催しました。この事業は、一般社団法人日本損害保険協会の助成を受け、高次脳機能障害地域生活援助者（高次脳機能障害の特性を踏まえ、地域において適切な相談支援やサービス提供ができる援助者）を養成するための研究事業として、平成27・28年度の2力年で実施しているものです。

当日は、当事業団内外から42名の参加があり、相談支援センターをはじめとする関係機関から5つの事例について報告がありました。事例を通し、地域のさまざまな機関が連携することの必要性や連携の仕方を共有することができました。

今年中には、高次脳機能障害者の生活を支援する技法やプロセスなどを紹介したガイドブックを発刊し、年度末にはこの研究の経緯と成果をまとめた報告書を発行する予定です。



合同就職説明会 を開催しました

平成28年8月8日（月）・17日（水）に、名古屋市総合リハビリテーションセンターで就職説明会を開催しました。この説明会は当事業団に就職を考えている方を対象に、今年度採用試験実施予定の3職種（事務・社会福祉職、理学療法士、作業療法士）について、合同で開催したものです。

「職員の話」では、6課の職員が業務内容や職場の雰囲気等について話をしました。また、センター見学後、職種ごとの詳細説明・質問タイムを設け、参加者と職員でたくさん話をすることができました。

今後も説明会を通じ、事業団をより知っていただき、採用に結び付けていきたいと考えています。



イベント情報

第13回名古屋市障害者スポーツ大会

- ①ボウリングの部 平成28年11月13日(日)
- ②卓球の部 平成28年11月20日(日)



対象者、申込方法等の詳細は、事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

問合：名古屋市障害者スポーツセンター 電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

障害者スポーツセンターよりお知らせ

1. 空調配管等改修工事に伴う施設利用制限について

平成28年9月1日(木)～9月27日(火) 2階フロア全域利用できません。

平成28年9月29日(木)～10月25日(火) 全館利用できません。

2. 館内床面改修工事に伴う施設利用制限について

平成29年1月から3月末にかけて、全館利用できなくなる予定です。

詳細については、決まり次第事業団ウェブサイトでお知らせします。



利用者の皆さまには大変ご迷惑をお掛けしますが、工事期間中は名古屋市と連携を図り、安全第一で施設修繕を進めてまいりますので、ご理解と協力をお願いいたします。

●後期家族介護者教室「便利な道具とらくらく介護」

対象者：介護に関心のある方。

名古屋市内東部・北部・西部・南部・中部で実施。各4回。

- ◆ 腰のらくらく ～介護のコツと移乗を助ける介護ロボット～
- ◆ 食事のらくらく ～安全に飲み込む工夫と食事づくり～
- ◆ トイレのらくらく ～間違えないオムツのあて方・選び方～
- ◆ 道具でらくらく ～生活を便利にする道具のお話と製作～
- ◆ 運動でいきいき脳 ～伸ばせ健康寿命～
- ◆ 運動でらくらく ～健康づくりのお話と毎日できる運動～



日時、申込方法等の詳細は、事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

問合：なごや福祉用具プラザ 電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

事業団ウェブサイト <http://nagoya-rehab.or.jp>

事業団職員大募集

「私たちと一緒に働きませんか」

▶現在募集中

嘱託職員 就労支援員補助

お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト <http://nagoya-rehab.or.jp>



事業所案内

- ・名古屋市総合リハビリテーションセンター
- ・福祉スポーツセンター
- ・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

- ・瑞穂区障害者基幹相談支援センター
- ・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

西部リハビリテーション事業所

〒453-0855

名古屋市中村区烏森町六丁目298番地

電話：052-486-2400 FAX：052-471-3710